

# 地球科学輻合ゼミナール (2014年度 前期 第9回)のご案内

温泉から見た沈み込み帯の水循環と物質輸送

大沢 信二

京都大学 大学院 理学研究科 地球熱学研究施設

2003年11月に「プレート脱水流体起源の温泉水を探す」という目的をもち、初めて野外調査に出かけてから、かれこれ10年が経ちます。そのような目的をもつ重要なきっかけのひとつになったのが、『京都大学21世紀COEプログラム:活地球圏の変動解明』でした。しかし、1000mを越すほどに深く掘削された温泉井戸を“地球内部を覗く窓”にみたてたプレート脱水流体起源の水を探し求める研究の道のりは決して容易ではなく、「これこそ沈み込む海洋プレートからやってきた深部起源流体に由来する温泉水だ」と自信をもって指させるまでには至りませんでした。大規模な地質構造線沿いに湧出する炭酸成分を豊富に含んだ食塩型水質の高塩分の温鉱泉水に目星をつけることができました。本プレゼンでは、その道のりと成果の概要をお話し、それに続き、これまで専攻内ではほとんど話題に上げなかった研究の成果をいくつか紹介して、これまでの10年にいったんけりをつけることにしたいと思います。

6月11日(水) 午後4:30~午後6:00

場所: 理学研究科6号館 303号室